

令和6年度入学試験問題（前期日程）

筆 記 試 験

教育学部 学校教育教員養成課程
中学校教育コース 教科教育専攻
美術教育専修

注 意 事 項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答時間は、120 分である。
4. 試験開始の合図があるまで、問題を見てはいけない。

問 題

最近，様々な事情で子供達のストレスレベルが上がってきています。

「癒す」というキーワードを中心に，美術を生かした子供のための活動を考え，その意図を論じなさい。

注 意 事 項

1. 字数や解答用紙の枚数に制限はないが，No. 欄に通し番号を記入すること。

令和6年度入学試験問題（前期日程）

筆記試験

教育学部 学校教育教員養成課程

中学校教育コース 教科教育専攻

美術教育専修

出題の意図

教育学部のアドミッションポリシーでは、教育という営みの本質を学びつつ、主として学校教育に関わる今日的な問題に真剣に取り組もうとする、「教員として主体性を持ち、子ども及び社会と関わっていききたい人」「教育の理論と実践を広く深く学ぶ意欲のある人」「高等学校での基礎学力を身につけ、思考力、判断力、表現力を持つ人」「沖縄の歴史的・地理的・文化的・社会的特性を活かしながら、グローバルな視点に立って教育活動に携わりたい人」を求めており、その適性の中でも特に美術教育での適性を見るために、筆記試験においては「発想力や鑑賞力、造形教育への関心度」を見ることにしている。

題材として取り上げたキーワードは現代社会に象徴的に存在し、一般的な美術の枠を超えて自ら考える問題である。これは美術の美的観点からだけでなく、例えば「人間のウェルビーイングを扱う実践」など様々な解釈が可能なテーマであるため、受験者自身の幅広い考えを深めることが求められる。本問では、特に美術的な取り組みを社会的側面と個人的側面の両面から構想し、積極的に人の感じ方に関わる活動として生かすことができるかを見る。加えて、美術表現の社会性と精神状況についての幅広い捉え方を通して、独自の考えを論理的に構築できるかについても見る。